

登校前	【持ち物】	①マスク(予備も含む)・ハンカチ・ティッシュ ②水筒等(当面の間、冷水器の使用は禁止します。) ※個人の手指用消毒液や除菌シート等の持参を保護者が希望した場合、学校と相談した上で個人で管理することを条件に許可する。	
	【健康観察】	①朝晩の体温・体調をチェック、健康観察シートに記入(保護者のサイン等)⇒発熱等の風邪の症状がある場合等には自宅で休養する。 ②同居の家族に発熱等の風邪症状がないかどうかの確認。⇒同居の家族に風邪症状が見られる場合も登校せず自宅での健康観察をお願いします。	
学校生活	【登校】	①登校時に、健康観察を必ず行う。(検温、風邪症状、同居家族の状況の確認) ※健康観察は、健康観察シートにて行う。 ※健康観察シートが未記入または忘れた場合は、担任または副担任で検温・問診等を行う。 ②健康状態が気になる生徒は、保護者に連絡し自宅療養を促す場合もある。保護者への引き渡しを待つ間、生徒は保健室等で待機させる。	
	【手洗い】	●手洗い(30秒程度時間をかけ、水と石けんで丁寧に洗う。)は以下の場面で意識して行う。 ◆手を拭くハンカチ等は共用しない。 ①登校後 ②屋外活動等の後、教室に入るとき ③咳やくしゃみ・鼻をかんだとき ④給食の前後 ⑤掃除の後 ⑥トイレの後 ※手指で目、鼻、口をできるだけ触らないなど接触感染を理解し、必要と判断した場合は手洗いを行う。	
	【冷水器の使用】	①当面の間、水分補給は水筒から行うものとし、冷水器から直接水を飲むことを禁止する。 ②冷水器から水筒への水補充は可とする。	
	【咳エチケット】	咳・くしゃみをする際 ⇒ マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。 ※マスクを着用していれば、基本的に咳エチケットを守ることができる。	
	【3密の回避】	①【エアコン未使用時】常時2方向の窓を同時に開ける。(扇風機等を利用して換気を行うなど空気の流れを作る) ②【エアコン使用時や気温が低い日・風が強い日等】休み時間毎に窓(2方向の窓を全開)を開け、10分程度、換気を行う。 ※授業中も双方向10cm程度窓を開放し、空気の流れを作る。 ③体育館のような広く天井の高い場所も換気に努める。 ※人の密度が高くなるよう教職員及び生徒が互いに意識し、必要があると判断した場合は様々な方法で換気を行う。	
	【「密閉」の回避(換気の徹底)】	①教室では常にマスクを着用するとともに、様々な活動において友だちや先生とできるだけ距離をとる。(最低1mを目安にする) ②間隔(身体的距離)が十分とれない場合は、全校集会及び学年集会などは行わない。(間隔がとれて実施する場合は短い時間で行う)	
	【「密集」の回避(身体的距離の確保)】	①基本的には常時マスクを着用する。(但し、熱中症も命に関わる危険があります。熱中症への対応が優先です。) ※マスクを着用する必要がない場合 ・十分な身体的距離が確保できる場合 ・熱中症などの可能性が高いと判断した場合 ②暑さで息苦しいと感じた時は、適宜マスクを外し呼吸を整えるなど自身の判断で対応すること。	
	【トイレ使用】	①日頃から、トイレ内はよく換気する。 ②フタがあるトイレの場合は、フタを閉めてから水を流す。 ③トイレの後の手洗いは、水と石けんで30秒程度時間をかけて丁寧に洗う。(ハンカチ等は共用しない)	
	【給食】	◆手を水と石けんで30秒程度時間をかけて丁寧に洗う。 ①食前の手洗いを徹底する。 ②会食に当たっては、机を向かい合わせにしない、大声での会話を控える。	
	【清掃】	①清掃は十分な換気やマスクの着用を心がける。(暑さで息苦しいと感じた時は距離をとってマスクをはずす。) ②清掃にあたっては、消毒を兼ねるなど工夫して行う(消毒は教職員の指導のもと行う) ③消毒は、みんなが手を触れる箇所(ドアノブ、手すり、スイッチ等)及び共用物等について1日1回程度行う。 ④清掃後の手洗いは、水と石けんで30秒程度時間をかけて丁寧に洗う。(ハンカチ等は共用しない)	
【授業】	①感染リスクの高い教科活動は行わない。 全教科⇒「生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」「近距離で一斉に大きな声で話す活動」 理科⇒「感染リスク対策が不十分な状況下で、生徒同士が近距離で長時間活動する実験や観察」 美術⇒「感染リスク対策が不十分な状況下で、生徒同士が近距離で長時間活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」 音楽⇒「室内で生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」 技術・家庭⇒「生徒同士が近距離で活動する調理実習等」 保健体育⇒「密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動」 (マスク着用は必要なし・間隔を確保する・マスク希望者は着用可) ※プールにおいては、水中感染のリスクは低いと指摘されているが、密集・密接の場面が想定されるため、様々な感染リスクへの対策が不十分な場合はプールの授業は実施しない。		
【部活動】	※当面は停止(再開については県や市の感染者発生状況を確認しながら総合的に判断していく) 《再開》感染リスク対策を十分に行い、可能な限り感染及びその拡大のリスクを低減させながら活動を行う。		
【熱中症対策】	①のどが渇かなくても定期的に水分補給をする。授業中の水分補給も可(但し、教職員と生徒でルールやマナーの確認を行う) ※水筒の共有はしない。 ②エアコンのある教室等を中心に活動する。(換気は忘れずに)		
【発熱や風邪症状を確認した場合】	①発熱者等の待機場所の確保(保健室以外の別室を設ける又は保健室内をついたて等で区切る) ②当該生徒等を安全に帰宅させる。(症状がなくなるまでは自宅で休養するよう指導) ※早退させるまで必ず職員が付き添う。早退後は、換気を十分に行い、消毒等の感染予防策を行う。		
放課後	【下校】	①校門や玄関口等での密集が起こらないようにする。 ②友達や一般の人と十分な身体的距離を確保できない場合はマスク着用をする。 ※但し、暑さで息苦しいと感じた時は、適宜マスクを外し新鮮な空気を取り込むようにする。	
家庭	【家に帰ったら】	①家に帰ったら、すぐに手洗いを行う。30秒程度かけ水と石けんで丁寧に洗う。(手を拭くタオルやハンカチ等は共用しない) ②人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える。シャワーを浴びる。 ③高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重に行う。 ④不要不急な外出を控える。	
その他	【連絡体制】	①感染防止について不安や悩み・相談など⇒市教育委員会(840-8165) ②発熱・風邪症状など⇒沖縄県南部保健所「帰国者・接触者相談センター」(889-6591) ③発熱・風邪症状など⇒新型コロナウイルス感染症 相談窓口(コールセンター)(866-2129) ④学校のホームページを活用した情報提供の整備。	

【参考】 ○《教保第668号令和2年7月10日》 学校(園)における新型コロナウイルス感染症の患者発生時の対応について(令和2年7月10日時点)(第16報-②)別紙 学校(園)における新型コロナウイルス感染症の患者発生時の対応(フロー図)(令和2年7月10日時点) ○《厚生労働省《健感発第0612第1号令和2年6月12日》感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて(一部改正)》 ○学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.8.6 Ver.3) ○小学校、中学校及び高等学校等にかかる感染事例等を踏まえて今後求められる対策等について(通知) 2文科初第700号 令和2年8月6日 ○県立学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(令和2年7月21日版) ○県立学校における地域の感染レベルに応じた感染症対策について 教保第776号 令和2年8月3日 ○県立学校における地域の感染レベル別の感染症対策 別紙1-1 ○県立学校における地域の感染レベル別の感染症対策(保健体育・運動部活動)(別紙1-2)